

「匠の技」と年間1000件以上の提案 国内外の1500社以上の顧客に製造販売

1939年(昭和14年)の創業期より航空関連の軍需産業に向け、部品の納入およびメンテナンスを行うことを生業とし、発足した。戦後は地元製紙機械産業をはじめ、一般産業機械から工作機械、自動車産業など国内外の約1,500社以上の顧客に多品種少量の歯車および金属加工部品の供給をしている。技術的特長である「曲り歯かさ歯車」の製造技術を保有することから、近年では国家の定める成長分野への進出も積極的に取り組み、航空機産業をはじめロボット・医療分野への精密歯車の提供を行っている。

所在地 静岡県富士市厚原291-4

電話/FAX 0545-71-2001/0545-71-9582

URL <https://www.k-gear.co.jp/home.html>

代表者 代表取締役 金子 佳久

設立 1944年

資本金 7,825万円

従業員数 29人



「歯車製造のスペシャリスト」として先端技術を生かした事業を展開中

曲り歯かさ歯車、ウォームギヤ歯車のスペシャリストとして、国内外と取引を行っている。JIS Q9100 認証を受けて航空分野、電気自動車、医療機器製造分野からの試作依頼なども多く寄せられている。精密3次元測定器による品質保証を行い、高い評価を受けており、国内でも数少ない少量多品種製造を可能にしたスパイラルベベルギアメーカーとして多くのサプライチェーンの重要な位置づけを担っている。近年、歯車の一貫生産体制を整備するために、設備投資および人事配置を行い、生産性向上に努めている。



精密三次元測定機による品質保証

独自開発の自動稼動が可能な加工方法を確立した生産性向上への取組

スパイラルベベルギアは、職人の経験やカンと言った「匠の技」で製造しており、工業製品としては珍しく歯型形状を数値化できない特殊な歯車である。そのなかで、スパイラルベベルギアの実産性に関する問題点として、汎用機で製造しており、加工が完了するまでの間、機械が停止する度に手で段取り調整を繰り返すため、人が機械をコントロールし続ける必要があった。そこで「匠の技」である生産技術の数値化とデジタル化を推進し、独自開発した加工プログラムをCNC装置に組み込み、大幅な生産性向上に成功している。



スパイラルベベルギア

効果的なOJTにより従業員の実力を引き出した多能工化

30代～40代の従業員が多く在籍しており、顧客からの図面から、材料、加工工程、段取り、後工程だけでなく、複数の加工をこなせるよう、効果的なOJTを設けている。このことによって従業員の実力を引き出して、多能工化に成功している。品質改善案や社内改善案を、役員だけでなく従業員とともに取り組む仕組みを運用しており、年間1,000件を超える提案が集まっている。生産性の向上だけでなく従業員の意識向上にも役立っており、全社員が任された仕事に責任と誇りを持ち取り組んでいる。



多能工社員による精密保証体制